

島しょ地域における災害時保健活動強化事業	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 令和6年度 終了 令和6年度
背 景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島しょ地域では、以前から噴火、地震、津波、風水害など様々な自然災害のリスクを抱えている。具体的には伊豆大島の三原山が前回の噴火から35年以上経過し、過去の周期から噴火が近々起こりえる点、南海トラフ地震及び首都直下地震が今後30年以内に80%の確率(令和7年1月1日時点)で発生する点、地震発生に伴い各島の津波被害のリスクが高い点が挙げられる。また、近年では、平成25年の伊豆大島での土砂災害、近隣地域において令和3年の熱海市伊豆山の土砂災害が発生しており、大規模な被害を及ぼす風水害の危険性も高まっている。 ○ 一方で、島しょ地域は、保健、医療ともに人的及び物的資源に限りがあり、発災時には、本土からの支援を受けるまで時間を要し、交通路となる海路、空路ともに寸断されるリスクがある。そのため、特に超急性期(発生72時間以内、フェーズ0～1)は本土からの支援を得ずに、島しょ地域での限られた資源の中で災害対応を行う事態が起こり得る。 ○ 島しょ保健所では、「災害時における島しょ保健所活動マニュアル」を定め、改訂を図り運用を行っているが、個々の職員が発災時に求められる行動をより明確にし、組織として災害時の活動を円滑に行えるように事前準備が求められる。 ○ 島しょ保健所での災害時保健活動の基盤を作った上で、島しょ各町村の地域防災計画をもとに、町村と災害時保健活動の連携を更に強化する必要がある。
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画全体では、島しょ地域での災害時保健活動を、大島出張所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することを目標とする。 ○ 災害時保健活動の専門家(講師)と連携し、各職種の災害時における行動をより明確化し、保健所内の災害時保健活動体制を整備することを目標とする。
事業内容	<p>【令和4、5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大島出張所内で災害対応オリエンテーションや避難所運営ゲーム(HUG)研修を実施した。 ○ 災害時保健活動の専門家による新島・神津島の現地視察と、島しょ地域の特性を踏まえた講演会を行い、より各島の特性に合わせた災害対応能力を高めた。 <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時保健活動の専門家によるオンライン講演会、意見交換や管内関係機関とHUG研修を実施し、職員の災害対応に対する知見と意識を高めた。 ○ 各職種が災害へ対応するため、令和5年度に大島出張所で策定したアクションカードをもとに、新島支所、神津島支所の各支所のアクションカードを整備した。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門家を招いての講演会等を通じて、島しょ地域での災害時保健活動を、大島出張所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することができた。 ○ 大島町役場、大島支庁、教育庁大島出張所の職員でHUG研修を実施し、避難所運営を疑似体験することで、災害時の行動判断を考える契機ができた。 ○ 新島支所・神津島支所で使用するアクションカードを作成し、災害時保健所活動体制を整備することができた。 ○ 引き続き、都や町村関係機関との連携強化を図っていく。
問 合 せ 先	<p>島しょ保健所 総務課 庶務担当</p> <p>電 話 03-5320-4342</p> <p>ファクシミリ 03-5388-1438</p> <p>E-mail S1153601@section.metro.tokyo.jp</p>